

第3章 健康づくりを推進し健康寿命を延ばす



1 保健サービスの充実

(1) 健康増進事業の充実

①健康教育

<取り組み>

「まめで健康 21 プラン後期計画[第2次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画]（以下「まめで健康 21 プラン後期計画」という。）」の分野別重点課題に基づいた集団健康教育を実施することで、町民一人ひとりが自身の身体状況を知り、健康づくりに興味を持ち、生活習慣病の予防及び改善につながる機会とできるよう努めます。

また、令和2年度より施行された「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」においても、これまでの健康づくり・介護予防の推進の中で築いた庁内及び関係機関との連携体制や地域資源を活用し、生活習慣病予防に加えフレイル予防の視点を踏まえた、「健康長寿のまち ほとやま」を目指したより効果的な事業展開に努めます。

さらに、より多くの方に参加していただくために、住民組織や関係機関・団体との連携を図り体制を整備するとともに、引き続き、健康に関する知識普及のため、町の広報やホームページなどへの情報の掲載を積極的に行っていきます。

<実績・見込み>

		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
集団健康教育	参加延人数(人)	計画	600	600	600
		実績	437	640	180

令和5年度は7月末現在

【実績の評価・課題】

- ・ 新型コロナの影響により、対面や集合形式での教育の機会は減少しましたが、健(検)診等の機会を捉え、リーフレットや画像といった媒体を利用して生活習慣病や骨粗鬆症の予防等に関する健康教育を実施しました。
- ・ 一体的実施の視点を踏まえた「高齢者のフレイル対策」においては、地区別の健康状態の把握とその分析結果に応じたモデル地区に対する健康教育を実施しました。
- ・ 今後も一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、維持・改善に取り組みやすい方法や機会を提供できるよう努めます。

②健康相談

<取り組み>

健全な生活習慣の定着が図れるよう個人のニーズに合わせたきめ細かい対応に努めるとともに、他の保健事業、関係部署、医療機関等と連携を図りながら取り組んでいきます。また、健(検)診結果相談、地区や家庭等への訪問による健康相談、その他町民のニーズに合わせた健康相談の充実を図ります。

ア 重点健康相談

高血圧、脂質異常症、糖尿病や歯周疾患、骨粗しょう症、病態別（メタボリックシンドローム等）等の重点課題について個々の生活習慣に応じた相談を行っています。今後

も、個人の食生活、運動その他の生活習慣に合わせたきめ細かい対応に努める必要があります。

イ 総合健康相談

健（検）診の事後指導や各種健康教室等において、対象者の心身の健康に関する総合的な相談を行っています。また、来庁による面接相談や、地区に出向いての相談、電話による相談なども随時行っています。今後も、実施内容等の見直し・改善を行いながら、健康相談の充実を図る必要があります。

<実績・見込み>

		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
重点健康相談	参加延人数(人)	計画	20	20	20
		実績	0	20	0
総合健康相談		計画	300	300	300
		実績	12	11	4

令和5年度は7月末現在

【実績の評価・課題】

- ・ 新型コロナの影響により対面での相談機会は減少しましたが、その必要性が高い場合には感染症対策をしながら実施しています。健（検）診の場での保健師による血圧や体調に関する相談は、感染症対策の観点や会場の流れをスムーズにするため実施しておらず、計画より実績の値は少なくなっています。
- ・ 今後も効果的で相談しやすい機会の設定、関係部署・機関との連携、相談を受ける職員の知識・技術の向上に努めます。

③がん検診等

<取り組み>

健全な生活習慣の定着が図れるよう個人のニーズに合わせたきめ細かい対応に努めるとともに、他の保健事業、関係部署、医療機関等と連携を図りながら取り組んでいきます。また、健（検）診結果相談、地区や家庭等への訪問による健康相談、その他町民のニーズに合わせて健康相談の充実を図ります。

ア 歯周疾患検診

歯と口の健康は心身の健康と深く関わっており、生涯を通じたこれらの健康づくりは、生活の質を高め、豊かな人生を送ることに繋がります。

歯周疾患検診（生活歯援プログラム）は、むし歯や歯周疾患予防をはじめ、歯や口をより良い状態に維持するための生活習慣改善の動機づけにも重要な役割を果たしています。今後も歯と口の健康の重要性の周知・啓発とともに検診の充実を図るよう努めます。

イ 骨粗しょう症検診

高齢になるに従って、カルシウム不足から骨の密度が減少し、骨が折れやすくなる病気（骨粗しょう症）にかかりやすくなります。日本では、寝たきりの原因となる可能性の高い大腿骨頸部骨折を起こした人の約80%に骨粗しょう症が認められており、性別では女性が圧倒的に多いのが特徴です。健やかな老後を送るためには、骨粗しょう症の予防は重要な課題であり、今後も検診の受診勧奨をするとともに、健診結果から自らの身体状況を知り、生活習慣等を見直し、骨粗しょう症予防につなげる契機としてもらえるよう努めます。

ウ 肝炎ウイルス検診

対象者は「年度年齢 40 歳の方」または「41 歳以上で今までに市町村実施の肝炎ウイルス検診を受けたことの無い方」と定められましたが、町では従来どおり 30 歳以上の未受診者を対象に実施しています。町内 4 医療機関の協力により、個別検診も導入し肝炎キャリアの早期発見・早期治療に結びつけています。

エ がん検診

がんは、多くの部位における罹患者数及び死亡者数が増加傾向にあり、重大な疾患となっています。その予防対策の一つにがん検診がありますが、本町におけるがん検診受診率は低く、各種がんで平均 30%前後という現状です。「まめで健康 21 プラン」中間評価におけるアンケート(現状値：令和元年度)において、定期的に健康診査を受けている方の割合が、壮中年期では 75.0%であるのに対し高齢期になると 56.8%と下がる傾向がみられます。

また、がん検診は、胃・肺・大腸がん検診の受診率平均が 37.8%と計画策定時である平成 25 年度の 23.9%と比較すると微増傾向となり、乳がん検診は 21.3%、子宮がん検診では 30.3%といずれも低い状況となっています。

多くのがんは、早期発見により治療の可能性が高まることから、引き続き各種がん検診の重要性及び必要性を町民に広く周知し、受診率の向上を図る必要があります。

<実績・見込み>

		区分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
歯周疾患検診	対象者数(人)	計画	480	460	440
	受診者数(人)		50	50	50
	受診率(%)		10.4	10.8	11.3
	対象者数(人)	実績	94	1,009	1,061
	受診者数(人)		10	20	0
	受診率(%)		10.6	2.0	0
骨粗しょう症検診	対象者数(人)	計画	10,127	10,076	10,076
	受診者数(人)		119	161	202
	受診率(%)		1.2	1.6	2.0
	対象者数(人)	実績	10,127	10,076	10,076
	受診者数(人)		117	158	0
	受診率(%)		1.2	1.6	0

* 歯周疾患検診対象者：妊婦・特定健診(集団)で HbA1c5.6%以上・糖尿病腎症重症化予防を目的とした歯科に係る取組該当者(令和 4・5 年度は、40・50・60・70 歳の方も追加)

* 骨粗しょう症検診：40 歳以上

令和 5 年度は 7 月末現在

【実績の評価・課題】

- 令和 3 年度は、新型コロナの影響で前年度の集団健診実施が縮小されたために対象者数が減少しました。令和 4 年度以降は節目年齢(40・50・60・70 歳)の方も対象者に追加し、受診者数の増加を図っています。
- 骨粗しょう症検診は、これまで各種イベント等住民が多く集う機会に実施していましたが、感染予防の観点から短時間で受診できるよう、単独実施に変更しました。

(2) 特定健康診査等の充実

<取り組み>

「鳩山町特定健康診査等実施計画」に基づく目標値達成のため、受診勧奨・受診啓発を図っていきます。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合から受託し、糖尿病等の生活習慣病早期発見のため後期高齢者健康診査を実施します。

<実績・見込み>

		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健康診査 (40～74歳)	対象者数(人)	計画	3,747	3,570	3,367
	受診者数(人)		2,024	2,035	2,021
	受診率(%)		54.0	57.0	60.0
	対象者数(人)	実績	3,080	2,824	2,809
	受診者数(人)		1,390	1,339	20
	受診率(%)		45.1	47.4	0.7
後期高齢者健診 (75歳以上)	対象者数(人)	計画	2,778	2,935	3,100
	受診者数(人)		548	585	624
	受診率(%)		19.7	19.9	20.1
	対象者数(人)	実績	2,639	2,740	2,993
	受診者数(人)		416	511	22
	受診率(%)		15.8	18.6	0.8

※資料：特定健康診査は第3期鳩山町特定健康診査等実施計画、後期高齢者健診は町民健康課推計

令和5年度は7月末現在

【実績の評価・課題】

- 健康診査の受診率は、新型コロナの影響で減少すると思われたが、継続的に増加している。
- 今後も健康診査の重要性の周知・啓発とともに、受診率の向上を図るよう努めます。

(3) 食育の推進

<取り組み>

平成29年7月に、『健康長寿のまち・はとやま』宣言をしたところですが、その中核となる3本柱のひとつに栄養があります。(健康長寿への取り組み3本柱⇒栄養・運動・社会参加)また、「まめで健康21プラン後期計画」において、栄養バランスなど高齢期に必要な「食」の正しい知識を普及させるとともに、住民組織や関係機関・団体と連携して食に関する取り組みを展開することで町民どうしのつながりの強化を図ることを重点課題としていることから、引き続き健康料理教室の開催を通じて食育を推進していきたいと考えています。

<実績・見込み>

		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康料理教室	開催回数	計画	5回	5回	5回
参加延人数(人)			100	100	100
健康料理教室	開催回数	実績	2	1	0
参加延人数(人)			14	2	0

令和5年度は7月末現在

【実績の評価・課題】

- ・ 評価期間の3年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理器具の共有など接触機会が多く、飲食を伴う健康料理教室は思うように開催できませんでした。
- ・ 開催回数や参加人数は計画よりも少なくなったものの、調理や試食を伴わない見本展示という新たな方法による教室も開催できました。
- ・ 令和5年度は、食生活改善推進員協議会と連携した町民向け健康料理教室も開催する予定であり、感染対策を踏まえながら、健康料理教室を通じた町民の健康づくりと地域のつながりの強化を推進していきたいと考えています。

(4) 感染症の予防

＜取り組み＞

感染症予防や、り患しても軽症化が期待できる予防接種など、感染症に関する知識の普及に努めた結果、計画期間を通して高齢者インフルエンザ予防接種率は50%を上回りました。新型コロナウイルス感染症の流行後、感染に対する不安はより深刻なものになりました。今後も「新しい生活様式（厚生労働省）」に基づく予防習慣を身につけて、適切な時期に適切な予防接種を受けることが感染予防に有効であることを、引き続き普及啓発してまいります。

＜実績・見込み＞

		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高齢者 インフルエンザ	対象者数(人)	計画	5,800	5,900	6,000
	接種者数(人)		3,000	3,000	3,000
	接種率(%)		51%	50.8%	50%
	対象者数(人)	実績	6,009	6,066	6,088
	接種者数(人)		3,283	3,354	0
	接種率(%)		54.6%	55.2%	0%
肺炎球菌	接種者数(人)	計画	90	110	100
		実績	56	41	16

※接種率については、あくまでも65歳以上の全人口(H27～見込含む)に対してのもので、様々な事情により対象外となる方を把握したうえでの対象者ではない。(通常、定期B類についての接種率は出していない。)

※肺炎球菌予防接種の対象者は65歳の者。平成26年10月から定期B類に位置付けられ、平成30年度までは5年間の特例措置として節目年齢に該当する者が接種対象となる。通年実施のため、接種者数は見込数(1月末時点の接種者数に、過去2年間の2・3月平均接種者数を加算)

令和5年度は7月末現在

【実績の評価・課題】

- ・ 高齢者の増加に比例しインフルエンザの接種者も毎年増加し、令和4年度には接種率が55.2%と計画を大きく上回る結果となりました。このまま推移すると令和7年度には60%を超える見込みとなることから、安定的な接種機会の確保が必要となります。
- ・ 一方、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種人数は減少傾向にあります。肺炎は日本人の死因の上位である重篤な疾病であり、予防接種でり患及び重症化を防ぐことができます。今後周知方法を見直し、更なる接種率の向上に努めます。